

さあ冬本番。販売店様と連携し、ガス切れ防止に努めます。

12月半ばに差し掛かり、北陸の地では、街中での降雪はまだですが、最高気温が一ケタの日も出始めています。早朝に出発する配送マンにとって、霜が降りた路面の走行や、薄暗い中での容器交換作業に油断は禁物。十分に注意して事故や作業ミスの防止を図っています。

さて、その昔、ガスの配送は、配送マンの「勘」に頼る部分が大きく、そのためガス切れでお客様にご迷惑をおかけすることも。その後コンピューターの導入により、お客様宅の消費量のデータなど様々な情報を駆使して配送予測ができるようになったので、ガス切れは随分減りました。それでも、お客様宅の急な消費量の変化、例えば、年末年始の帰省によりご家族が増えたことによる消費量の増加などは、わが社にその情報が届かないといくらコンピューターでも配送予測に反映できません。

右：シリンダー配送車



左：バルク配送車

だから今でも残念ながらガス切れを起こしてしまうことがあります。わが社ではこの「残念なガス切れ」を防ぐため、日頃より、お客様の家族人員の変化やガス器具の入れ替え、増設による消費量の増大について、販売店様との情報共有を図っており、この冬も、使いたい時に快適にガスを使って頂けるよう連携に努めます。

悪天候の日も私たちは配送に出かけます。お客様に笑顔をお届けするために。